

衆議院総務委員会ニュース

平成24.6.19 第180回国会第12号

6月19日(火) 第12回の委員会が開かれました。

1 松下国務大臣(郵政民営化担当)から就任の挨拶が行われました。

2 原人事院総裁から就任の挨拶が行われました。

3 消防法の一部を改正する法律案(内閣提出第49号)(参議院送付)

- ・川端総務大臣及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
(賛成 - 民主、自民、公明、共産、きづな、社民、みんな)
- ・皆吉稲生君外6名(民主、自民、公明、共産、きづな、社民、みんな)から提出された附帯決議案について、西博義君(公明)から趣旨説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもってこれを付することに決しました。
(賛成 - 民主、自民、公明、共産、きづな、社民、みんな)

(質疑者及び主な質疑内容)

重野 安正君(社民)

- ・共同防火管理となる防火対象物のうち協議事項を届け出ているものが3分の2にすぎない理由と、これに今回の法改正が与える影響について、大臣の見解を伺いたい。

柿澤 未途君(みんな)

- ・今回の法改正により選任が義務付けられる統括防火管理者、統括防災管理者に関し、新たに、資格認定制度を設けたり、講習義務を課す予定があるのか、消防庁に伺いたい。

桑原 功君(民主)

- ・今回の法改正に関し、テナントの入退居の頻度が高い雑居ビルに、どのようにして共同防火管理体制を適合させていくのか、また、検定に合格していない検定対象消防用機械器具等に係る回収命令や罰則は製造事業者に対しても適用されるのか、消防庁の見解を伺いたい。
- ・消防組織法上消防団を必置義務化することや日本消防協会の「東日本大震災後の我が国消防のあり方に関する意見」について、大臣の見解を伺いたい。

斎藤 やすのり君(きづな)

- ・住宅用火災警報器を検定対象品目に追加することにより、日本消防検定協会の収入がどの程度増えるの見込んでいるのか、消防庁に伺いたい。

坂本 哲志君(自民)

- ・法改正後における防火対象建築物の管理権原者と統括防火管理者との間の責任の所在、度合い、区分は、どのようになるのか、大臣に伺いたい。
- ・消防用機械器具等の検定への民間参入に際し、どのようなチェック体制をとるのか、消防庁に伺いたい。
- ・消防の広域化に係る地方交付税及び地方債による財政上の特例措置の必要性について、大臣の見解を伺いたい。

稲津 久君(公明)

- ・今回の法改正において選任が義務付けられる統括防火管理者、統括防災管理者、さらにはこれと関連した防火管理者に関する普及目標と工程表が必要と考えるが、消防庁の見解を伺いたい。
- ・今回の法改正により統括防火管理者に各防火管理者に対する指示権が付与されることに関連して、指示の実効性の担保のため、一定の強制力を持たせる方策を検討すべきであるとの考え方もあるが、大臣の見解を伺いたい。

塩川 鉄也君(共産)

- ・消費税の増税は地域医療の後退につながることを考えると考えるが、大臣の見解を伺いたい。
- ・消費税の増税は地域の足となっているバス路線の切り捨てにつながることを考えると考えるが、大臣の見解を伺いたい。